

あなたの部下は何タイプ？ 4タイプをご紹介します

部下とのコミュニケーションでこんなお悩みありませんか？

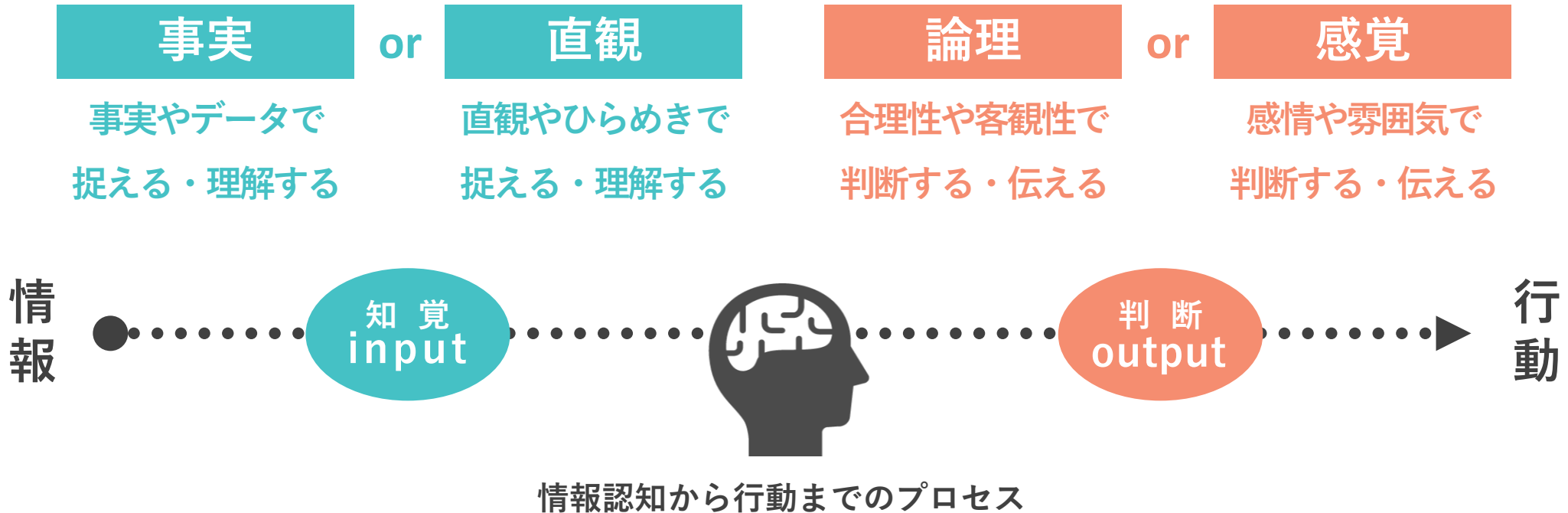
何となく話が
かみ合わない

部下に指示が伝わらない

部下が何を考えているか
分からない

コミュニケーションがうまくいかない原因は？

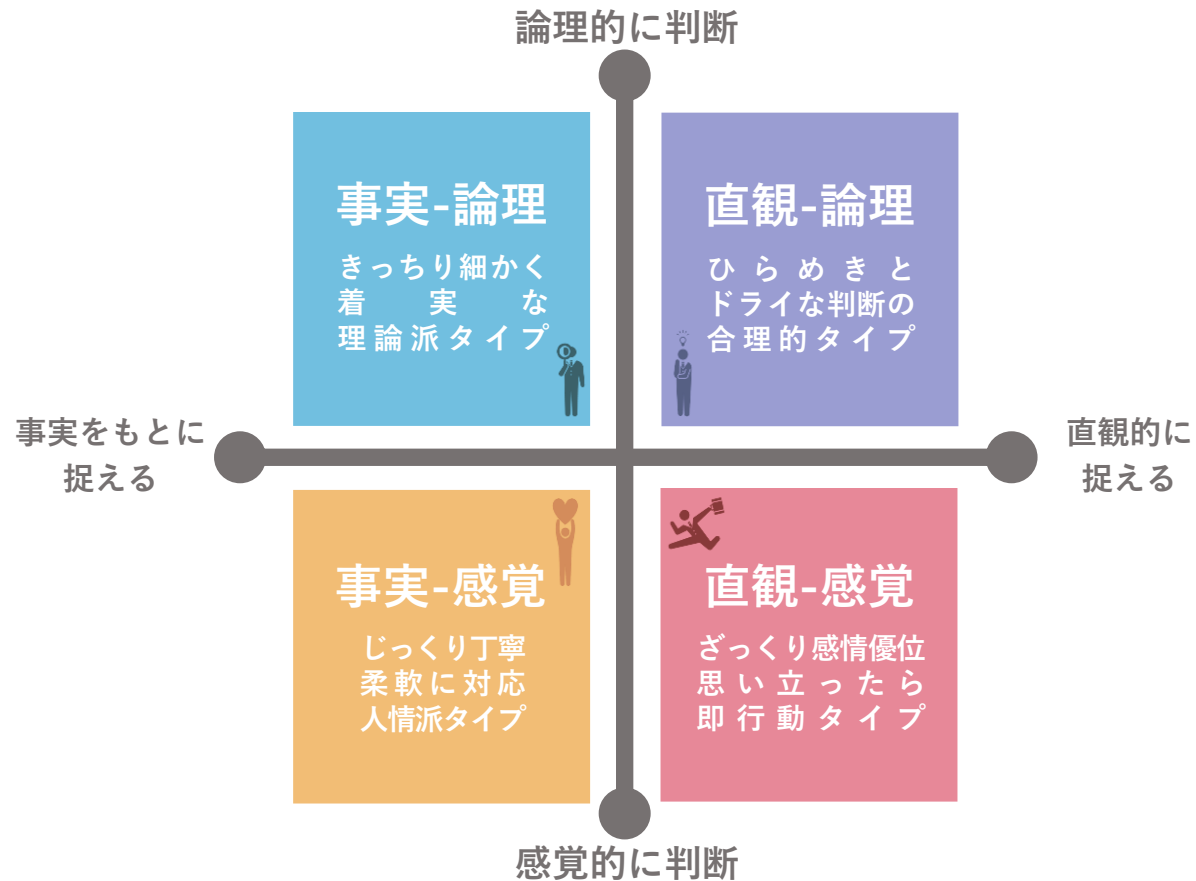
情報の捉え方、判断の仕方には人それぞれ違いがあります。



これらがあなたと部下とで異なることが、
コミュニケーションがうまくいかない原因かもしれません。

コミュニケーションの4タイプ

情報の捉え方、判断の仕方を組み合わせて、4タイプに分類しました。
あなたと部下はそれぞれ何タイプでしょうか？

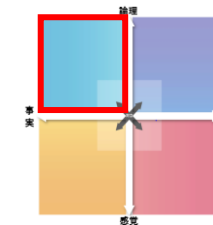




事実-論理

きっちり細かく着実な理論派

冷静 # 慎重 # 現実 # 詳細 # 論理 # 客観



強み

事実に着目し一つ一つ細かく理解した上で
論理立てて考えることができる

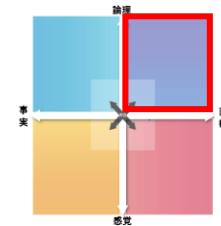
弱み

融通が効きづらかったり
周囲から冷たく見られたりすることがある



直観-論理

ひらめきとドライな判断の合理的タイプ



合理 # 革新 # 想像 # 全体 # 論理 # 客観

強み

不確かなことでも直観的に要点を掴み
合理的な判断や対応ができる

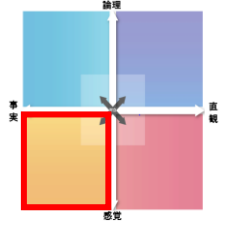
弱み

相手の気持ちに対して
鈍感に見られることがある



事実-感覚

じっくり丁寧で柔軟に対応する人情派



#丁寧 #調和 #現実 #詳細 #感覚 #共感

強み

細かい表情の変化や言動をよく見て
周囲に合わせて対応することができる

弱み

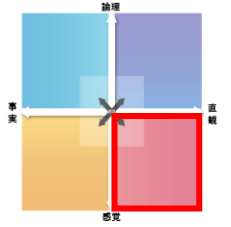
初対面やよく知らないものに対しては
慎重になることがある



直観-感覚

ざっくり感情優位で思い立ったら即行動

熱心 # 行動 # 想像 # 全体 # 感覚 # 共感



強み

物事を直観的に理解し
考え過ぎずに素早く判断・対応できる

弱み

理屈っぽい人や淡々とした人は、
得意でないことがある



タイプ別の関わり方 **事実-論理** タイプの場合

タイプ別に適切な関わり方があります。ご自身、部下のタイプを理解し、タイプに合わせたコミュニケーションをとってみてください。

BAD

曖昧な内容のまま、抽象的な表現を用いて伝えらると何を言っているのか伝わらず困ってしまう。

GOOD

筋道立てて具体的・客観的に話す

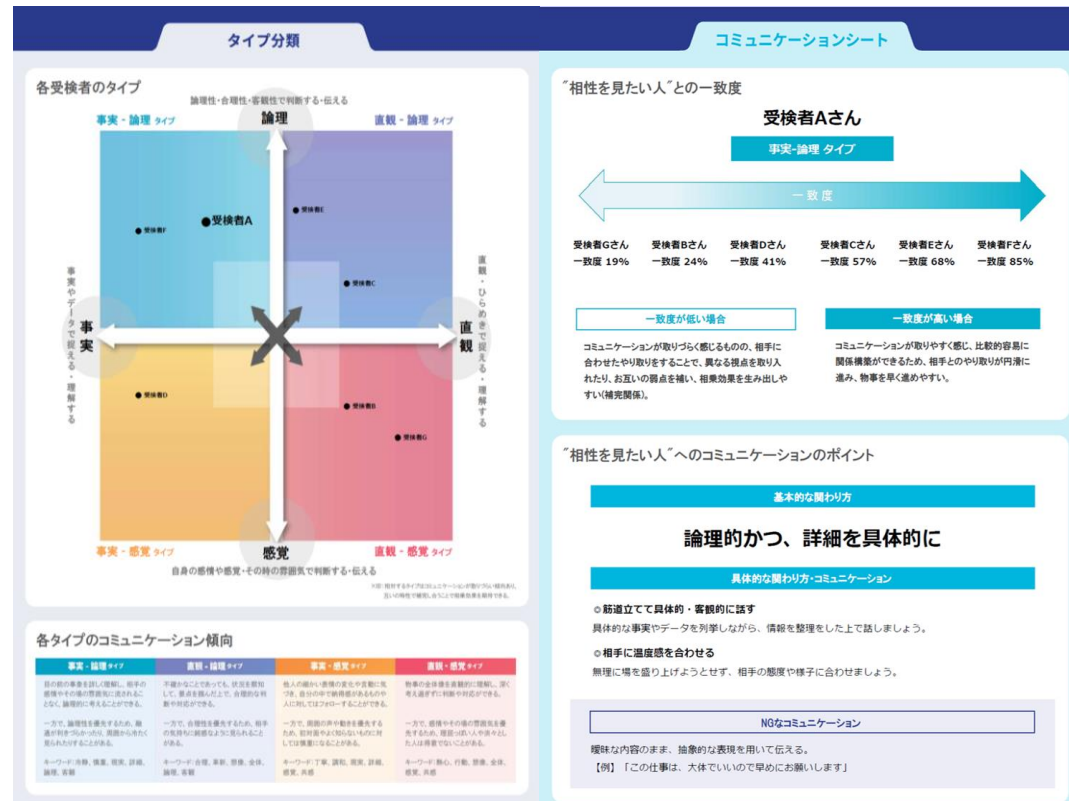
具体的な事実やデータを列挙しながら情報を整理をした上で話す

相手の温度感を合わせながら聞く

無理に場を盛り上げようとせず、相手の態度や様子に合わせる

『チーム相性テスト Chemistry』とは

約6分の適性検査で、コミュニケーションのタイプを可視化。
マネジメント方法やチームメンバーの構成を考えられます。



1. 受検者の特性を4タイプに分類

コミュニケーション特性をもとに、
人材の特性(得意・不得意)を整理します。

2. 組織の相性を可視化

組織の状態や社員の関係性を俯瞰して把握可能。
組織課題の特定、早期発見に役立ちます。

3. 相性に応じたコミュニケーションをアドバイス

社員同士の「相性一致度」をレポート。
GOOD/BADコミュニケーションをアドバイスします。

無料トライアルはこちら